

# 博物館における「NFC タグ」と「3D 技術」を組み合わせた展示説明

**代表者** 芸術工学研究科 教授 横山清子

**連絡先** yokoyama@sda.nagoya-cu.ac.jp

**連携・協力者** 名古屋市博物館

**ポイント** 日本初となる「NFC タグ」と「3D 技術」を組み合わせた展示です

## 1 概要

・NFCタグやQRコードを用い、スマホや多機能端末で、展示説明が参照できるコンテンツの作成と試験運用を実施しました。

## 2 活動内容

- ・平成26年12月14日～27年2月8日：特別展「感じる縄文時代」での試験運用
  - 土器の3DCG映像、写真などを用いた資料の周辺知識の提示、クイズ、音声読み上げ、多言語(英語、韓国語、中国語)の説明文と音声読み上げの機能を実現しました。
- ・27年7月18日～9月27日、28年7月16日～9月25日：常設展示室での試験運用と評価実験
  - 27年度は、イラスト・解説文、3DCG映像、クイズなどコンテンツの内容と、メニューの書式を複数種類用意し、子どもを対象として教育効果が高い情報デザインの方法を検討しました。28年度は、コンテンツにより展示室内の動線を制御し、資料への関心を高め、また、リピータを確保するために効果的な情報デザインの方法を検討しています。合わせて、視線解析装置を用いた評価実験も行っています。



特別展「感じる縄文時代」の展示説明コンテンツの表示例

## 3 成果

- ・26年度の調査において、54%以上が40代以上を占める182名の回答者の72%が「他の場所でも使ってみたい」との結果となりました。展示資料自体を見ることのきっかけとなるコンテンツ制作を継続的に検討していきます。
- ・26年度の試験運用をきっかけに、現在他県の歴史博物館において、立体造形模型にNFCタグを埋めこみアプリの起動を行う試みを実施しています。



NFC タグの設置台とタッチ面の表示デザイン